第3種郵便物認可
岐阜新

社 058-264-1151
(FAX) 265-2769
原支局 058-383-2220
(FAX) 383-2254
島支局 058-391-3352
(FAX) 391-6112
美支局 058-324-7820
(FAX) 324-7303

岐阜 地域

「相続」が発生す
この手続きを怠
かといって慌て

ぎふ♥
幸せ瓦版

発達障害に寄り添う

中部学院大子ども学部　別府悦子教授

中部学院大学子ども学部（各務原市那加甥田町）の別府悦子教授（52）＝障害児心理学専門＝が、発達障害の支援の在り方などをまとめた本「発達障害の人たちのライフサイクルを通じた発達保障」を発行した。発達障害の若者や子どもが周りの理解や協力を得て成長した事例を基に、支援のヒントを伝えている。

同本は、幼児期から青年期まで年代ごとに分け、3歳から30代までの子どもや若者ら10人の事例を紹介。保育士や教師らが、悩みながらも子どもたちに寄り添う姿を丁寧に書いている。別府教授は「単なるハウツー本にはしたくなかった。子どもの思いを大切にして、決して諦めないということを伝えたかった」と語る。

各事例は、発達障害の支援の示唆に富んでいる。保育園に通う4歳の男の子は、着替えることが苦手だったが、大好きな新幹線を例えて「超特急のように着替えようか」と言えば、素早く着替えを済ませる。

またパニックになりがちな女児が、クラスメートの理解で修学旅行に行くことができた成功事例を紹介。「発達障害には個別の対応の必要性が言われているが、周りの子どもから切り離したら、仲間を意識する年齢がゆえ、疎外感や孤立感を助長させかねない」と指摘する。

一方、大人の発達障害も深刻だ。別府さんは、ニートや引きこもりの会「ポポロ」（岐阜市）で出会った発達障害の若者らとも聞き取りを続けてきた。就職した会社で人間関係に悩み、嫌がらせを受けていにされることもある。「ライフサイクルを見通した理解と対応を考えることが必要」としている。

本は1冊1785円（税込み）で販売。注文、問い合わせは全国障害者問題研究会出版部、電話03（5285）2601。

（河合修）

発達障害の支援の在り方などに関する本を発行した別府悦子教授＝岐阜市役所

支援の在り方まとめた本出版

「発達障害の人たちの人生を描写することで、同じ立場の人を勇気づけたい」。別府悦子教授の言葉の

人の特性を理解し、受け入れるだけの余裕を失いつつある。それでも別府さんは希望を捨てずに生きこと

体調を崩した人もいる。発達障害は、周囲の理解が少なく、本人の特性も「わがまま」「自分勝手」と誤解されることが多い。時には子育てのせ